

令和5年
祝

謹賀新年 長浜開町450年

飛躍のうさぎ年に 理事長 馬場智章



NPO 法人
長浜観光ボランティア
ガイド協会
〒526-0059
長浜市元浜町 14-12
湖北観光情報センター
電話 0749-65-0370
発行責任者・馬場智章



謹んで新年のお祝詞を申し上げます。
会員の皆さまにおかれましてはご家族様共々、清々しい令和五年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年もコロナの三文字を意識しながらの活動でしたが、国の施策として行動制限が徐々に緩められたことに依り、長浜曳山まつりをはじめ多くの観光イベントも通常に近い形で開催されました。私たちも多くの観光客をお迎えし、今後にも明るさを感じました。なかでも昨十一月から十二月にかけて、韓国からの観光客を三回案内したことは、明るい話題の一つで、



イラスト・氏原建士

今後の外国人観光客増に繋がると期待しております。
今年の干支は癸卯（みづのとう）です。癸卯は六十年に一回ですが、卯年は十二年に一回廻って来ます。卯は多産の動物で子孫繁栄に繋がります。跳びはねる事から飛躍を表わす吉祥の動物とされ、竹生島唐門の彫り物にも

新年おめでとうございます。入会し、また理事になり数年が立ちました。ガイド活動を支える委員の仕事に身近に感じ、今までの先輩方のご苦労に頭が下がる思いです。また、数年間で、時代の流れや会員の変化等を肌で感じ、協会にある多くの課題も強く感じています。今は、その一つの課題解決にむけてガイド募集、養成を実施中です。さて、皆さんは何を求

見られます。お目出度い動物のうさぎ年、前回（平成二十三年）はどんな年だったでしょうか。
記憶をさかのぼると、当協会がNPO法人の認証を受けた記念すべき年です。併せて大河ドラマ『江〜姫たちの戦国〜』で長浜中が燃え上がり、私たちガイドも市内各地を駆け回りました。この経験で得た「皆で力を合わせれば、大きな

成果を得る」が鯡の湖会の伝統形成に繋がっています。
今年「長浜開町450年」の年として多くの行事が催されます。今回入会されたフレッシュなメンバーと共に、心を合わせ、前向きに取り組む、当会の新しい歴史を創る令和五年にしましょう。
皆さまのご多幸とご活躍を祈念申し上げます。

副理事長 永田太一

「大きく飛び跳ねる（飛躍）う（卯）れしい年に」。

令和5年

担当理事による年頭所感 計画・予定・夢・思い……

情報の迅速な伝達と共有化を進める

ガイド担当 西川 裕

昨年四月からの新体制でガイド担当をすることになりました。昨年はコロナ感染が完全に収束しない中、後半は政府の観光支援政策もあり、特にツアー客の観光が増えて秋には一昨年より多い結果となりました。その中で予定の変更やキャンセルが多く発生し、皆様には多大のご協力を頂きました。

一方、昨年より情報の迅速な伝達と共有化を目的に、ガイドの出勤関係やHP会員掲示板の更新また会員へのお知らせにメールを活用することとしました。今後も従来の紙方式による連絡と併用して電子ツールの活用化を更に図っていきたいと思います。

また外国人の日本訪問に合わせたインバウンド需要の復活も予想されます。ガイド担当としても、

「夢」はだれもが輪番で担える役員仕事

総務担当 直井 博

皆様楽しくガイドをしていただけるように環境を整えることが総務担当の役目だと思います。

もうひとつ大事なことは、会員獲得です。昨年来、皆様のお力をいただけて養成講座を進めています。受講されている方に、「入りたい！」と言われるように頑張りたいと思います。会員の皆様から一層のお力添えをお願いします。

それらニーズに合わせて的確に対応していきたいと思っております。よろしくご協力をお願いします。

《今年の目標》

1. 電子ツールの更なる活用
2. 多様なニーズに合わせたお客さまへのガイド

リピート回数を増やす企画を考えたい

JRハイキング・清掃活動担当 田中信之

昨年は、コロナ禍の中の活動で、会員皆様のご協力により、無事、予定通りの活動ができました。今年も、昨年に続き、コロナ禍が横ばい状態が続くようですが、今年、長浜では開町四五〇年となります。市の観光行政も、記念イベントが、市をあげて多数企画されます。我々も、観光客の皆様にもっと長浜のまちを知って頂き、歴史の深さ、古民家の町並み・庭園の紹介、町に残る文化財の紹介、曳山まつり等のイベント紹

介、長浜の美味しい食文化の紹介、大人気の竹生島参拝を盛り込んだガイドを企画し、長浜の良さを、再発見してもらい、リピート回数を増やしていきたいと思っております。

とくにJRハイキングでは、これまで以上にお客様に喜んでいただける取り組みを進めたいと思います。清掃活動等もいろいろな観光イベントへ参加しながら、環境美化を進めていきたいと思っています。

新入会員養成と一般会員研修は長期に安心かつ活動できる場

研修担当 塚田利満

新年の予定として今月六日、盆梅展会場清掃後、観光協会より新年度盆梅展の説明（研修）会をもって頂きますのでよろしくお願います。さて、研修係は今年度「随伴（相互）研修の充実」を活動方針に掲げています。

昨年、随伴研修を企画・実施する中で、近年入会員の皆さんの中にガイド出動も研修会参加もしたいが個別の事情があつて叶わないという方々がいらつしやるのを知りました。新入会員ガイド養成講座の開催に向け役員一同取り組みましたが、

一方で、「一般会員の随伴（相互）研修」も新入会員や一般会員が安心して長く活動していくために大切だと考えます。特に、引き続き先輩会員様からのご理解とご協力をお願い申し上げます。

私の年頭所感

全員の顔が見える全体集會を
近藤敏子

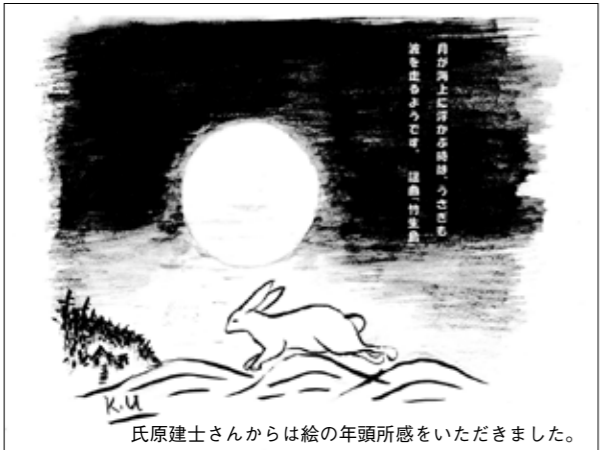
昨年十一月の全体集會で「この会を毎月開いてはどうでしょうか。」の提案に私の心が動きました。さらに会の終盤、「一人は全員のために、全員は一人のために心を成す。」の発信に温かいものを感じました。

蒲生さん（二代目会長）の忘れられない一言

高山豊生

私が六十一歳の時、ボランティアガイドの募集を知り、皆さんの仲間に入れていただきました。最初の研修がイエス長浜であり、一年生会長の蒲生さんが挨拶されたのを今でも覚えています。二年後、私が入院した時に蒲生会長が見舞いに来られました。感激した私は、蒲生さんがおられる間は私も辞める訳にはいかな

いぞと思えました。その後蒲生さんも退会されてしまい、もう会えないのかと思っていたところ、米原の施設へ音楽で慰問に



氏原建士さんからは絵の年頭所感をいただきました。

行った時、思いがけず蒲生さんに会えて、少し話す事

肌ぬくもりの伝わる生の声こそが全体集會の持つ良さであると思います。この一日を通り過ぎてしまわなために、全員が全体集會に出席すべきだと思います。毎月1回の集いを楽しみに待つ、というのが本来の鮎の湖会の姿ではないでしょうか。会員のお顔が見える「全員集合！」。夢ではないと思います。

が出来ました。これが蒲生さんをお見かけする最後になりました。今も残るその時の言葉「長浜のVG頼むでな……」が忘れられません。

ぴよんと跳ねる年に

沓水達雄

昨年停滯気味であったガイドの依頼も改善の兆しが見え、今年期待が持てる年になると思います。変化には常に対応できるように、またお客様に喜んで頂き、自分自身も満足できるようにしていきたいと思っています。

私は小さい頃からお花が大好きで、大きくなっても、年老いた今も、それは少しも変わりません。私が観光ガイドをしているのも慶雲館の盆梅展のためといっても誤りではありません。

盆梅展大好き

遠藤満代

お正月が近づいてくると、私はそわそわしだします。そして松の内が終わると、私が一年中で最も幸せな二ヶ月間の始まりです。そう、長浜盆梅展の開幕

今年も慶雲館に盆梅を見に来られる方に、私と花を愛する人の、優しい心と穏やかで美しい表情に出会えるのです。

「ガイドブック」を充実させる

中川 明

コロナ禍で、自粛していたガイド活動を少しずつ始めたい。

その1は、自分自身のガイド術をさらに磨きたい。お客様への語りかけ方、その内容、反応を感じる力等を、洗練したものにした

弁財天の手招き

中澤芳一

文化財の宝庫であり、日本三弁財天のひとつが知られる島、竹生島に、最近はいくつかのガイド依頼が寄せられています。

ある日ガイドとして、観光船で竹生島に向かっていると、前方よりお祭りのように飾り付けた十石船に乗った七福神や弁財天が私に向かつて手招きしている……エーッ！

ここで目が覚めました。唐門や観音堂の修復がなった竹生島のガイドに、今年はいそしみたいなあ。私の夢です。

長浜市「社会功績表彰」受賞
おめでとう委員会

社会功績表彰で観光ガイドから次の三名が表彰され、それぞれ喜びのコメントをいただきました。

磯田 智さん
観光振興の功勞で表彰を受けるとは、思いもよらぬことで、

何処の何
石柱と松の向こうにある木造建築物は何処の何ですか。



答えはページ下段を参照

身にあまる気持ちで光栄です。

十六年前、長浜V.G協会に入りガイド活動を始めました。私自身の長浜に対する見聞を広めるとともに、長浜の良さ（地域の歴史の深さ・濃さ）を観光客の方達に少しでも伝えられるように、「おもてなしの心」でガイドに工夫を重ねてきました。このことが評価されたものと思ひ感謝の気持ちでいっぱいです。

藤山 弘さん
私は定年退職の後、地域社会への恩返しと老後の健康と生きがいと思い、ガイド養成講座を受講後、即刻入会いたしました。

入会にあたっては、諸先輩のご指導と「鯼の湖」のおもいを忘れることなく、自然豊かで歴史の奥深い長浜の地を会員皆様と共に案内出来たことは幸せでした。

とくにNHK大河ドラマの博覧会は、ガイドとしての生きがいであり貴重な財産になったと感謝しています。
私も八十歳を過ぎましたが、ガイド活動をもう少し続けていきたいと思ひます。

上野 英さん
昨年十一月三日に長浜市役所

議場で、市長さんから長浜市功績者表彰を受けたことは、私の大きな喜びです。これも、皆様方のお陰と、感謝いたしております。

十数年前に、当協会に入られて頂き、ガイドを始めました。当初は、ガイドに緊張しまくっていた私でしたが、年月を重ねると共に、何とか乗り切るものが出来、喜んでいきます。そして、「来て良かった」と、喜んでいただけるようなおもてなしの心を持って、今後とも来訪者に接していきたいと思ひています。

短 信

■慶雲館清掃
1月6日(金) 9時~11時
会場・慶雲館
持ち物・軍手など
※清掃後研修があります。

■英会話研修
1月25日(水) 14時~
会場・南郷里まちづくりセンター

■ガイド養成講座(第5回)
1月13日(金) 13時30分~
会場・長浜城歴史博研修室
講義「長浜の文明開化」
講義「ボランティアガイドの心得」

■ガイド養成講座(第8回)
1月27日(金) 13時30分~
会場・長浜城歴史博研修室
講義「観光都市としての歩み」続いて終講挨拶

クイズ「何処の何？」の答

正解は「知善院の表門」。この表門は長浜城の搦手門を移築したものとされています。写真の石柱にある「国宝観世音」とは、境内にある観音堂に安置されている重要文化財の木造十一面観音坐像(旧法では国宝)のことで、鎌倉時代の運慶ら慶派の作と伝わり

ます。その観音堂は一六九五年、曳山建造で有名な大工藤岡一門の初代棟梁藤岡甚兵衛の築です。石柱の背面に「明治三十八年初夏 下郷傳平建之」とあり、下郷傳平さんの活躍が覗えます。

知善院は、もと小谷城下にあった寺を、秀吉が長浜城の鬼門を守るために移築したもので、本尊の阿弥陀如来や脇侍の日光・月光菩薩は、秀吉が中国遠征の際に、播磨の書写山円教寺から持ち帰ったものと伝わっています。

このほか大坂城落城時に持ち出されたという秀吉の木像や淀殿(茶々)が妹初子の夫京極高次に宛てた手紙、地元の女流画家加納凌雲の天井絵、大通寺や曳山の絵で有名な山縣岐鳳の墓があるなど、知善院は多様な方面と繋がっているため、長浜の歴史・文化・人脈の要の位置にあるともいえます。

長浜観光ボランティアガイド協会会報
「鯼の湖」 第一五七号
令和五年一月一日発行
発行人・馬場智章
編集人・橋本常憲
発行所・NPO法人長浜観光
ボランティアガイド協会
長浜市元浜町14-12
四居家内